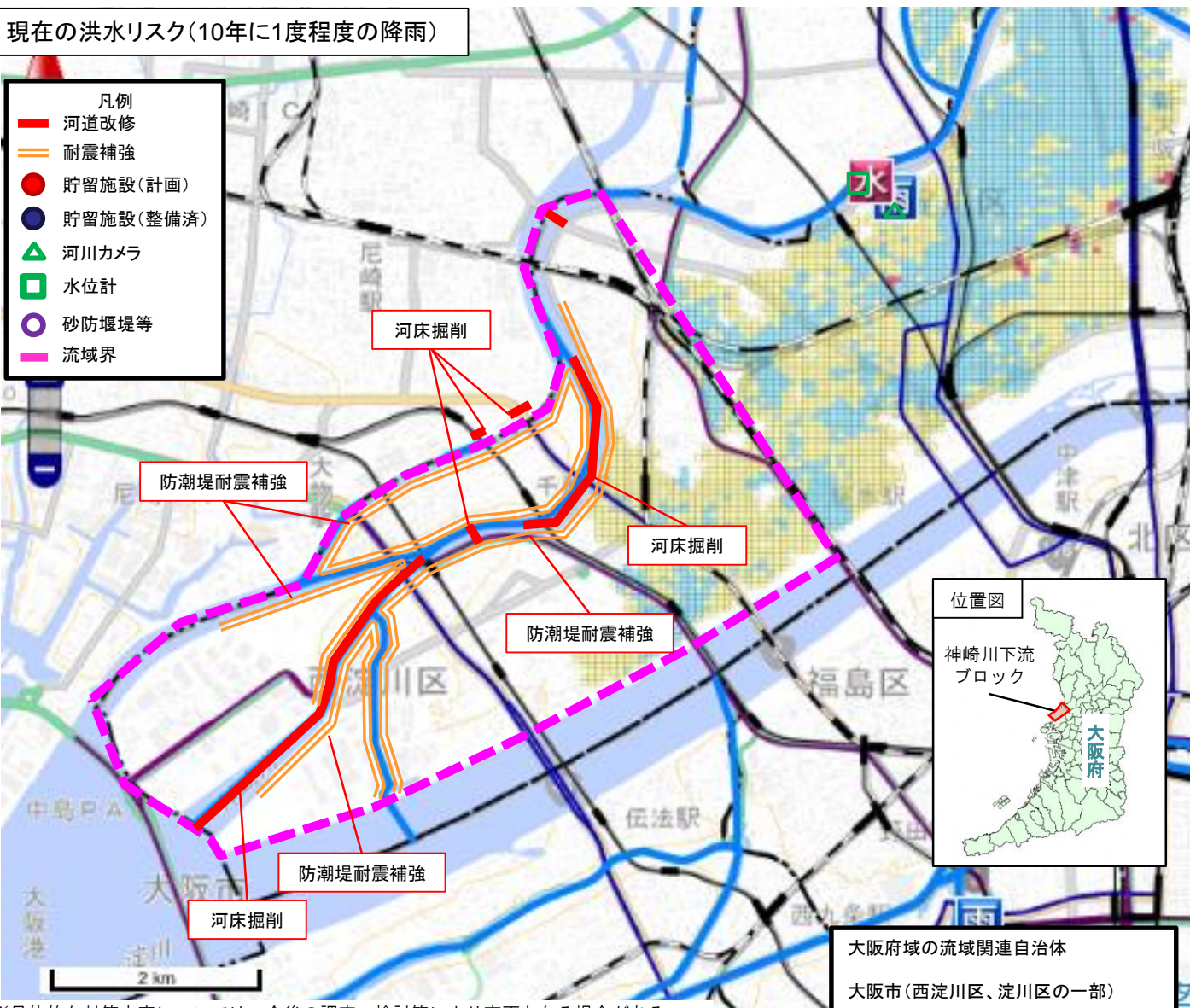


○神崎川下流ブロック（神崎川、中島川、左門殿川、西島川）では、当面の治水目標として40年に1度程度発生する恐れのある降雨による洪水を安全に流下させることができるよう、河床掘削等による洪水対策を実施します。また、高潮対策として整備対象区間において、防潮堤等の耐震補強を実施します。

現在の洪水リスク(10年に1度程度の降雨)

- 凡例
- 河道改修
 - 耐震補強
 - 貯留施設(計画)
 - 貯留施設(整備済)
 - ▲ 河川カメラ
 - 水位計
 - 砂防堰堤等
 - 流域界



■河川・下水道などにおける対策

対策内容 ・河床掘削【府】
・防潮堤耐震補強【府】

■流域における対策

対策内容 ・土地利用誘導(立地適正化計画の見直し等)等【府・市】
・雨水貯留施設、下水道施設増強、耐水化【市】

■ソフト対策(大阪府水防災連絡協議会の「地域の取組方針」に定める内容を反映)

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
- ・ホットラインの運用(洪水・高潮)【府、市】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(広域タイムライン)(洪水・高潮)【府・市・民間】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(市域・町域タイムライン)(洪水・高潮)【市】
 - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(コミュニティタイムライン)(洪水・高潮)【市】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府・気象台】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(洪水・高潮・土砂災害)【府、市】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府】
 - ・水害ハザードマップの改良、周知、活用(洪水・内水・高潮)【府、市】
 - ・防災教育の推進【府、市】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
 - ・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進【府、市】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
 - ・水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)【市】
 - ・水防訓練の充実、避難訓練への地域住民の参加促進【府・市】
 - ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【府・市】
 - ・市町庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府、市】
 - ・浸水被害軽減地区の指定【府、市】
 - ・水門・鉄扉等の施設の確実な運用体制の確保【府、市】
- ③減災・防災に関する国の支援
- 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援【府】



大阪府域の流域関連自治体
大阪市(西淀川区、淀川区の一部)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。